

開講科目表

種別	科目名	単位数
選択必修Ⅰ	音楽文化研究 1 A,B (音とメディアテクノロジー)	(2)
	音楽文化研究 2 A,B (サウンドデザイン)	(2)
	音楽文化研究 3 A,B (音楽ジャーナリズム)	(2)
	音楽文化研究 4 A,B (ポピュラー音楽)	(2)
	音楽文化研究 5 A,B (ミュージック・カルチャー&ビジネス)	(2)
	音楽表現研究 1 A,B (共演コミュニケーション)	(2)
	音楽表現研究 2 A,B (舞台芸術)	(2)
	音楽表現研究 3 A,B (作曲編曲)	(2)
	音楽表現研究 4 A,B (音と映像)	(2)
	音楽表現研究 5 A,B (音楽教育)	(2)
選択必修Ⅱ	音楽文化演習 1 A,B (音とメディアテクノロジー)	(2)
	音楽文化演習 2 A,B (サウンドデザイン)	(2)
	音楽文化演習 3 A,B (音楽ジャーナリズム)	(2)
	音楽文化演習 4 A,B (ポピュラー音楽)	(2)
	音楽文化演習 5 A,B (ミュージック・カルチャー&ビジネス)	(2)
	音楽表現演習 1 A,B (共演コミュニケーション)	(2)
	音楽表現演習 2 A,B (舞台芸術)	(2)
	音楽表現演習 3 A,B (作曲編曲)	(2)
	音楽表現演習 4 A,B (音と映像)	(2)
	音楽表現演習 5 A,B (音楽教育)	(2)
選択科目	音楽人間環境科学A,B	(2)
	音楽・音響メディア表現論A,B	(2)
	音楽教育と先端メディアA,B	(2)
	音楽の学術研究・情報論A,B	(2)
	演奏様式研究理論と実践A,B	(2)
	音楽家のための事業創造論A,B	(2)
	アーティストのための身体論A,B	(2)
	教会音楽研究理論と実践A,B	(2)
	実技レッスンA,B*	(3)
	特別実技レッスンA,B*	(1)
選択必修Ⅲ	修士研究指導	(2)

※ 大学院PA (パフォーマンス・アーツ) 科目

レッスン科目を始めとする個人指導による科目を「選択PA科目」として開講しています。実技の個人レッスンが中心ですが、そのほかに音楽芸術専攻の専任教員が背景研究・論文作成、作曲、メディア・アートの分野についての個人指導も行います。選択PA科目群の仕組みを活用することで、学生は専攻実技の個人レッスンを複数の教員から受けることができます。また、研究のために有意義であると認められた場合には、自らの専攻(楽器)とは異なる専門分野の担当教員の個人指導を受けることができます。

選択PA科目では、週1回(45分・15分)の個人指導を受けることができ、本学教員及び海外アーティスト等学外の講師による短期集中レッスンなども設定されています。